

岡崎盲学校いじめ防止の取組評価について（報告）

令和3年3月31日

1 取組内容与方法

- (1) 学校教育計画の重点目標に、「いじめをしない・見逃さない校内環境の醸成及び、いじめや不登校のない学校作りに努める。」といじめに関する取組目標をたて、実施する。
 - ・「いじめ不登校等対策委員会」を設置し、事案の解明と解決に向けての主導的な立場をとる。
 - ・委員会を中心に、情報の伝達・共有を迅速に適切に行えるよう意識的に対応する。
- (2) 学級ごとに、いじめ防止の観点で取組目標を設定し、実施する。学級経営案にも明記する。
 - ・未然防止、早期対応、情報共有を日頃から意識的に実践する。
- (3) 生活アンケートを年間で3回実施し、児童生徒の状態の把握に努め、必要に応じて指導に反映できるようにする。
 - ・原則として「小学部」「中学部」「高等部普通科」「高等部保健医療科、専攻科医療科」の4種類のアンケートで行い幼稚部及び各部の重複障害学級は幼児児童生徒の実態を踏まえて行う。
 - ・アンケートの記載内容については、必要に応じて適切な対応を行う。

2 取組評価の方法

- (1) 生活アンケートの集計や記載内容から評価をする。
 - ・計上される数や記載内容から、全体の傾向を読み取り、文章表記で表す。
- (2) 学級ごとの取組目標に対する反省をもとに評価をする。
 - ・学級経営案の記載事項や担任に対する聴取から、学部の傾向や全校の傾向を考察し、文章表記で表す。
- (3) 職員対象アンケートの集計や記載内容から評価をする。
 - ・記載内容から取組に対する理解度や満足度を考察し、文章表記で表す。

3 評価

- (1) 生活アンケートから
 - ・「学校は楽しいか」「充実しているか」の設問に対して、回答児童生徒の91%（小91%、中80%、普93%、保専91%）が「楽しい」「充実している」と回答した。また「友人の有無」を問う質問に対し99%（小中普）が「いる」と回答した。
 - ・「学校生活でやりがいを感じるか」の問いでは、回答生徒の46%（中47%、普45%）が「やりがいを感じる」、35%（中35%、普38%）が「どちらともいえない」と回答した。
 - ・いじめやその前兆となる言動の有無を問う設問に対しては、回答児童生徒の92%が「ない」と回答した。「ある」と回答した児童生徒には内容を記入してもらい、慎重に対応した。
 - ・悩みについて問う設問に対しては、これまで眼疾患や友人の有無等が多かったが、今年は受験に関する内容が多かった。なお、小学部で2年続けて理由を言えないという回答が気になった。悩みの相談対象を問う設問に対しては、「親」「先生」「友人」「その他」の順の4項目で、回答児童生徒のほとんどが「いる」と回答した。「しない」と回答した生徒が普通科で22%いた。
- (2) 学級の取組評価から
 - ・『いじめは絶対に許されない』の考えのもと、どの学級においても個別に面談をしたり、担任間で連絡を取り合うなど、いじめについて話し合う機会を設けたりして少人数学級の利点を生かしながら、児童生徒の些細な変化に迅速に対応できるよう意識的に取り組み、目標を達成することができた。具体的には、突発的にふさわしくない言動が見られたときには、相手がどう思うかや、優しい言葉遣い、他の言葉で言いかえができないかを一緒に考えた。状況をシミュレーションして出来事に向き合い、友達の意見を聞くことで自分の意見をまとめ、お互いの良さを認めたり共感したりすることができた。生徒同士が話しやすい環境をつくることで、多様性を認め合い、お互いの個性を尊重して過ごすことができた。といった反省が出た。
- (3) 職員アンケートから
 - ・いじめ防止の観点から、『児童生徒の様子は特に問題ない』とする回答がほとんどであった。しかし、いじめをする子はいないが、相手の気持ちを考えない行動をする子はいる。その場合は学部や学校全体で共通理解をして学校としての対策を考えておいてもよいと思う。という回答があった。
 - ・生活アンケートから気になる点の有無を問う設問に対して、自分で考え答えることができない重複学級の児童生徒は保護者や担任が答えやすい様式にしてもよいと思った。という回答があった。
 - ・生活アンケートについては、設問内容や実施方法についても、『現行でよい・特になし』が大方であった。記載事項の詳細な詮索は行わない方針に対して、必要な時はしっかり見極めることが大切だと思う。アンケートの手間を省くために決まりきった回答をしている場合もあるため、並行して面談週間があってもよいかもしれない。という回答があった。
 - ・自殺予防の取組について、大方はよいという回答であったが、家庭において自殺予防について話し合われているかどうかかわからない。という回答があった。